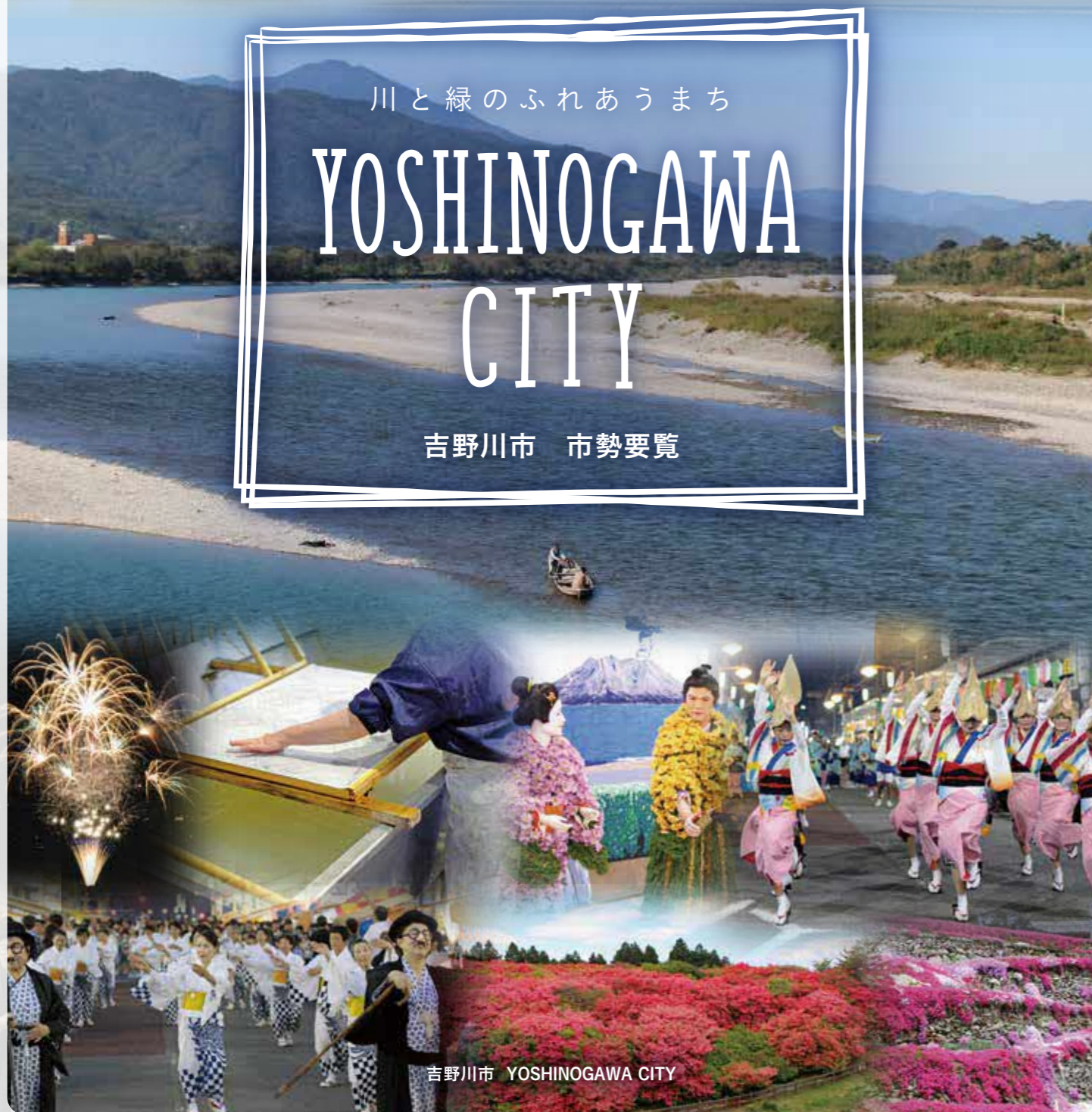




川と緑のふれあうまち

# YOSHINOOGAWA CITY

吉野川市 市勢要覧



発刊／徳島県吉野川市  
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL.0883-22-2222  
<https://www.city.yoshinogawa.lg.jp/>  
編集／吉野川市総務部市長公室



## CONTENTS

四季の写真 ..... 3

吉野川市のまちづくり ..... 5

日本遺産のまち吉野川市  
・歴史と伝統 ..... 9

吉野川市のあゆみ ..... 10

イラストマップ ..... 11

吉野川市のプロフィール ..... 13

市長あいさつ ..... 14

# 四季のふるさと

## 癒しの風景



# 春



① 船窪のオンツツジ群落(山川町)

阿波富士ともいわれ美しい姿の高越山から奥野々山に通じる峰筋にあります。面積約3haの船底形の窪地(標高1060m)に朱赤色のオンツツジを中心に約1200株が群生しています。4月下旬から開花がはじまり、5月中旬から下旬にかけて、燃えるような朱赤色の花が咲き乱れる光景は、まさに豪華絢爛。

② 川島公園(川島町)

川島公園は、阿波九城の一つとして数えられた川島城が築かれていた「城山」二帯をいいます。元亀3年(1572)の上桜城陥落後、三好家臣川島兵衛進は、吉野川を望むこの地に城を築き、川島城と称しました。現在の川島城は、昭和56年に築城されたもので、桜の名所でもあり、憩いの場として親しまれています。

③ 美郷のホタル(美郷)

美郷地区全体が「美郷のホタルおよびその発生地」として国の天然記念物に指定されています。川田川と東山谷川の二つの清流で、5月下旬から6月にかけて無数の飛びかうホタルの群れを見ることができます。

④ 吉野川

「藍より青し吉野川」とうたわれた、四国三郎「吉野川」。四国のいのちとして愛媛県の瓶ヶ森に源を発し、全長194km



# 夏



# 秋



⑤ 菊人形菊花展(鴨島町)

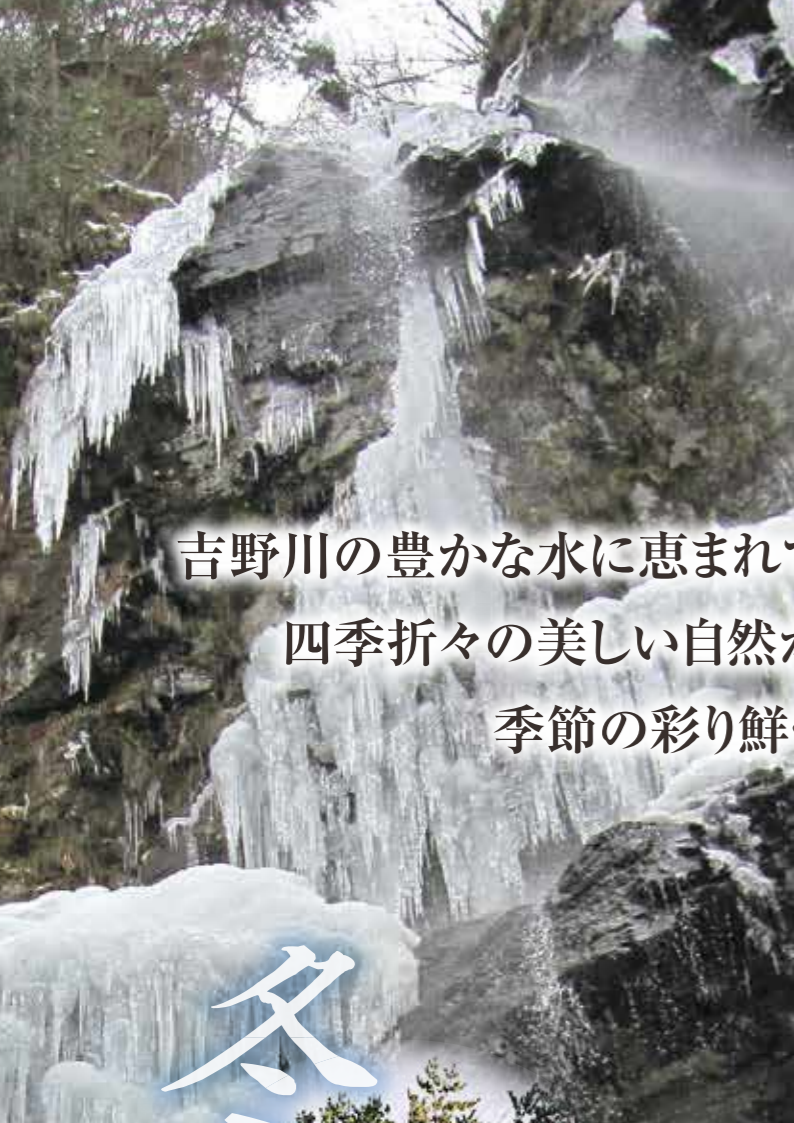
西日本で唯一の「菊人形菊花展」は、市役所前のイベント広場で毎年10月下旬から11月下旬にかけて行われています。NHK大河ドラマなどの主人公をテーマとした菊人形や、見事な菊の花が展示されます。

⑥ 母衣暮露滝(美郷)

川田川の源流に位置する「母衣暮露滝」は、落差約30mの滝で、美郷の最西端標高700mにあります。滝のすそには霊験あらたかな不動明王が安置されており、祈願成就のため多くの人々が訪れています。その際、滝すそで「心不乱に祈っていると、滝に後光が射し、着物が飛沫で濡れるのもかわわず、日の暮れるのも忘れてひたすら祈願したことから、この名が付けられたそうです。

⑦ 江川の水温異常現象(鴨島町)

水温の異常現象が確認されたのは昭和9年(1934)頃で、冬には20℃を超え夏には10℃前後にまで下がっていたそうです。このような現象が起こる要因は川島より下流の吉野川右岸に分布する川砂利層に停滞した河川水が季節による温度変化を経て地下の定温層を約半年かけて移動し、湧き出していることによると考えられています。



# 冬



吉野川の豊かな水に恵まれて  
四季折々の美しい自然が織りなす風景  
季節の彩り鮮やかに...

世代を越えて、夢紡ぐまち

新・生活創造都市をめざして

# 吉野川市のまちづくり

人と物が集まる  
まちづくりを

吉野川市では、地方創生の充実・強化に向けて、切れ目なく取り組みを進めるため、「吉野川市まちひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「しごとをつくり、安心して働けるようにする」「ひとの定住・環流・移住の新しい流れをつくる」「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」などを基本項目に掲げ、若者世代の定住促進や子育て支援環境の充実等、人口減少社会に適応した持続可能なまちづくりに取り組んでいます。これからも時代の潮流を的確に把握し、大都市にない個性を育てながら、今まで以上に人と物が集まる将来を見越したまちづくりを進めていきます。

しごとをつくり、  
安心して働けるようにする

創業・起業支援や企業誘致などの新しいしごとづくりや地域の商工業の活性化に資する取り組みを進め、地域の雇用環境を確保して安心して働ける環境づくりを進めます。



coworking・シェアオフィス『Ki-Da』

ひとの定住・環流・移住の  
新しい流れをつくる

移住コーディネーターと連携した移住者受入体制のさらなる充実を進め、若者世代の定住人口の増加・転出抑制や県外からの移住促進を図り、地域の活性化や各分野の担い手確保を進めます。  
さらに、本市の魅力発信し本市を訪れる交流人口の増加や本市とのつながりのある関係人口の増加に向けた取り組みを推進します。  
また、定住促進に資する情報や市の魅力を発信していきます。



阿波おどり



美郷に暮らす



上桜スポーツグラウンド



市リバーサイドハーフマラソン



吉野川市リバーサイドハーフマラソン大会



カラフルトマト



吉野川市ブランド認証品



美郷の梅酒



デコボン



スイートコーン(甘々娘)



吉野川市民プラザ



市立鴨島東こども園



市立高越小学校・こども園

**若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる**

結婚をしたい、子どもを多く持ちたいという市民の希望をかなえることができようように、また、働きながら子どもを産み育てやすい環境づくりを推進し、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育てに関する希望が実現できるように、切れ目のない支援体制の構築をめざします。

また、小・中学校においては、未来を担う子どもたちが時代に適応し活躍できるよう基礎学力向上の取り組みのほか、ICTを活用した教育の推進や英語学習の強化を推進していきます。



吉野川市アリーナ

**持続可能なまちをつくる**

人口減少が進む中、持続可能なまちづくりのため、まちを支えるひとつりや地域力の強化、吉野川市アリーナを最大限に活用したスポーツ健康まちづくりの推進、既存施設のストックマネジメントの推進や災害に強いまちづくりを進めていきます。

また、高齢化が進む中、地域交通の確保を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。



総合防災訓練



吉野川市防災備蓄センター



子育て支援センターちびっこプラザ



- 平成16年(2004) 麻植郡4町村(鴨島町、川島町、山川町、美郷村)が合併し、「吉野川市」が誕生
- 平成17年(2005) 美郷高開地区が「第9回ふるさとイベント大賞」部門賞を受賞  
鳥取県倉吉市と災害時相互応援協定を締結
- 平成18年(2006) 市民憲章、市の花・木・鳥を制定  
市立川島中学校新校舎完成  
吉野川市川島浄化センター完成
- 平成19年(2007) 吉野川市合併3周年記念事業「吉野川市と阿波忌部」開催  
国民文化祭「吉野川文化探訪フェスティバル」開催  
国民文化祭「吉野川ジャズフェスティバル」開催
- 平成20年(2008) 美郷地区が梅酒特区に認定
- 平成21年(2009) 美郷高開集落が「にほんの里100選」に認定  
吉野川市子育て支援センター設置  
市立山川中学校新校舎完成  
吉野川市特産品ブランド認証制度創設
- 平成22年(2010) 吉野川市ファミリー・サポート・センター設立
- 平成23年(2011) 吉野川遊園地閉園(開園から42年)  
吉野川市公式キャラクター「ヨッピー・ピッピー」誕生
- 平成24年(2012) 新吉野川市学校給食センター完成  
吉野川市交流センター開設  
国民文化祭2012inよしのがわ「音楽で心を繋ぐまちづくりフェスタ」開催
- 平成25年(2013) 吉野川市役所庁舎統合 東館業務開始  
上下水道料金徴収等包括業務委託開始  
吉野川市運転管理センター完成
- 平成26年(2014) 市立川島こども園開園  
吉野川市山川地域総合センター業務開始  
吉野川市市制10周年記念事業「錦秋吉野川歌舞伎」開催
- 平成27年(2015) 「四国遍路」が日本遺産に認定  
吉野川医療センター開院
- 平成28年(2016) 岡原多目的緑地公園完成
- 平成29年(2017) 簡易水道事業を上水道事業に統合  
吉野川市消費生活センター開設
- 平成30年(2018) 市立高越小学校開校  
市立高越こども園開園  
地方創生☆政策アイデアコンテスト最優秀賞受賞
- 平成31年(2019) 市立鴨島東こども園開園  
令和元年 上桜スポーツグラウンドがオープン  
「藍のふるさと阿波」が日本遺産に認定  
「美郷の梅」(梅酒特区)が日本観光特産大賞の金賞を受賞
- 令和2年(2020) 吉野川市民プラザがオープン

# 日本遺産のまち吉野川市

本市には2つの日本遺産が認定されています



**第11番札所藤井寺**  
境内には弘法大師お手植えと言われる五色に咲くフジが有名で、寺名の由来となっています。本尊は明治44年に国の重要文化財に指定された「木造釈迦如来坐像」です。ここから第12番札所焼山寺への遍路道は四国霊場88カ所の中でも唯一、1200年前弘法大師が歩いた時のままの自然が残っている「最後まで残った空海の道」として大切に保存されています。



国指定重要文化財 木造釈迦如来坐像

## 四国遍路

～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われています。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっています。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化です。

## 藍のふるさと阿波

～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～

古くから日本人の生活に深くかわり、神秘的なブルーといわれた「藍」。徳島県の北部を雄大に流れる吉野川の流域は、藍染料の日本一の産地です。この地域の平野部に見られる高い石垣と白壁の建物に囲まれた豪農屋敷や豪華な「うだつ」があがる町並み、「阿波おどり」のリズムからは藍染料の流通を担い、全国を雄飛した藍商人のかつての栄華をうかがい知ることができます。この地域では、今も藍染料が伝統的な技法で生み出されており、その色彩は人々を魅了し続けています。



山川町諏訪の藍屋敷



西麻植八幡神社



工藤家住宅を中心とした藍関連文化財群

# 誇りある歴史と伝統

大切に受け継いで

ゆきたい宝物



## 川田八幡神社の秋祭り

川田八幡神社は、建久8年(1197)の棟札があることから約800年前に創建されたと考えられています。毎年10月22日の例大祭には「秋祭り」がにぎやかに行われます。神輿の渡御では氏子たちが屋舎を担いで、200mあまりの参道を練り歩き、50段の階段を勇壮に一気に駆け上がり境内へ運びます。見応えもあり迫力満点です。



## 七十五膳の神事

川島神社は、大正5年(1916)の吉野川改修工事により移転を余儀なくされた浮島八幡宮や、旧川島町の多くの神社を合祀してできた神社です。毎年10月の秋の例大祭の儀式的の後に、古式にのっとり、海・山・野・川の幸、75種を神前に供え、豊作を感謝し、氏子の健康を祈願するという神事が行われます。特にお供えた箸は、霊験があるといわれています。この神事は市無形民俗文化財に指定されています。



## 平八幡神社奉納獅子舞

美郷内に唯一現存する獅子舞で、毎年10月の平八幡神社例祭で奉納され、五穀豊穡、家内安全を祈願し、2頭の獅子が勇壮に舞い、祭りに彩りを添えます。創始は文化年間(1804～1818)で、約200年前から継承され、香川県から山川町北島を経てこの地に伝わったといわれています。この奉納獅子舞は市無形民俗文化財に指定されています。



## 上桜城跡

川島町と美郷の山塊から北に延びた標高142mの尾根筋に位置します。北面は吉野川中流域の平野部を見下ろし、阿讃山脈を望め、東面は吉野川河口付近まで俯瞰できます。戦国時代には篠原長房(?～1573)の居城でした。長房は、畿内を支配し天下人であった戦国大名三好長慶の弟である実休に仕え、三好家臣団の中心として活躍しました。この城跡は県史跡に指定されています。



## 忌部神社

阿波忌部の祖神とされている天日鷲命を阿波開拓の先進地である忌部山の中腹に祭っています。忌部氏は天皇が即位する大嘗祭に鹿服を調進する重責を代々担ってきましたが、南北朝時代に途絶えていました。大正天皇の大嘗祭に577年ぶりに復活し、昭和、平成、令和と忌部神社で製織された鹿服が調進されています。神社の裏山には市指定史跡忌部山古墳群があります。

INFORMATION

① 吉野川市民プラザ

吉野川市鴨島町鴨島252-1  
☎0883-22-2001

② 鴨島温泉 鴨の湯

吉野川市鴨島町飯尾415-1  
☎0883-22-1926

③ ひまわり農産市鴨島店

吉野川市鴨島町上下島283  
☎0883-22-0006

④ 藤井寺

吉野川市鴨島町飯尾1525  
☎0883-24-2384

⑤ (財)阿波和紙伝統産業会館

吉野川市山川町川東141  
☎0883-42-6120

⑥ 美郷物産館

吉野川市美郷字峠463-3  
☎0883-26-7888

⑦ 美郷ほたる館

吉野川市美郷字宗田82-1  
☎0883-43-2888

⑧ ふいご温泉

吉野川市山川町久宗31-1  
☎0883-42-4700



バンブーパーク



学駅



阿波和紙伝統産業会館

吉野川市イラストマップ

YOSHINOOGAWA CITY ILLUSTR MAP



重楽寺



水神の滝



江川・鴨島公園



向麻山公園



高開の石積みシバザクラ



美郷の梅



## 吉野川市のプロフィール



### ● 市章

4つの放射型は合併した4町村の躍動、四国山地など山々の稜線、白の空間は吉野川を主とする川の流れをイメージしています。



### ● 市の花<キク>

キクは、大菊から小菊まで色とりどりの美しい花を咲かせ、切り花や鉢植えなどの観賞用として広く市民に親しまれています。



### ● 市の木<オンツツジ>

昭和60年に国の天然記念物に指定された、船窪のオンツツジは、ほかに類を見ない大群落を形成しています。



### ● 市の鳥<カワセミ>

カワセミは、きれいな水辺に棲む鳥で、市の名称の由来でもある吉野川の清流を象徴する鳥です。

## 吉野川市の概要

吉野川市は、徳島県北部のほぼ中央、吉野川の中流域南岸にあり、北は同川をはさんで阿波市、東から南は名西郡、西は美馬市に隣接しています。市の南部は四国山地の北部にあたる山地で、高越山をはじめ急峻な山々が連なっています。



### 位置

- 東経 134°21'31"
- 北緯 34°03'59"
- 面積 144.14km<sup>2</sup>

### 交通

- JR徳島線、徳島駅から鴨島駅まで約40分  
鴨島駅から吉野川市役所まで、徒歩で約15分(1km)
- 徳島駅から吉野川市役所まで、車で約40分(19km)
- 徳島阿波おどり空港から吉野川市役所まで、車で約1時間(30km)
- 徳島自動車道、土成ICから吉野川市役所まで、車で約15分(7km)

## 市民憲章

吉野川市は、吉野川の流れにはぐくまれ、自然豊かなまちです。わたしたちは、このまちに生きることに誇りと責任を持ち、「世代を越えて夢紡ぐまち」をめざしてこの憲章を定めます。

- 一、わたしたち一人ひとりが元気を出して、わたしたちのまちをつくります
- 一、健康で快適に暮らせる、安全で安心なまちにします
- 一、産業を振興し、にぎわいのあるまちにします
- 一、豊かな人間性をはぐくみ、思いやりのあるまちにします
- 一、環境を大切に、住みよい美しいまちにします

## 市長のメッセージ



### 発刊にあたって

吉野川市は、美しい清流「四国三郎」吉野川にはぐくまれ、ホテルやオンツツジの大群落など四季折々の豊かな自然が息づいています。また誇りある歴史と伝統、文化を受け継ぎながら、「世代を越えて夢紡ぐまち 新生活創造都市をめざして」を市の将来像とし、豊かさやゆとりを実感できるまちづくりに取り組み、市民の日常生活に密着した行政サービスの提供を心がけながら、さらなる飛躍をめざしています。

人と人との結びつきから、生活する誰もが誇りと愛着を持ち、そして「このまちに暮らしてよかった」と思える吉野川市を市民の皆さんとの協働により実現していきたいと考えています。

市勢要覧をご高覧のうえ、本市への理解を深めていただき、よりよいまちづくりへの一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年3月  
吉野川市長 原井 敬